

弦楽合奏団



エテルニータ

第11回コンサート

2014年6月15日(日) 開演 2:00pm (開場 1:30pm)

とちぎ男女共同参画センターパーティホール

ごあいさつ

本日は弦楽合奏団エテルニータのコンサートにご来場いただきありがとうございます。

今回も指揮者に諸岡範澄氏をお迎えして練習を重ねて参りました。諸岡氏はバロック音楽に大変精通しておられ、私たちが今まで経験したことのない素敵なバロック音楽の世界へと導いてくださいました。何度も宇都宮へ足を運んで、未熟な私たちに根気強く丁寧にバロック音楽の素晴らしさをご指導してくださいました。

今回のコンサートには新しい若い団員も数名加わり、さらに管楽器のオーボエとファゴットも特別に参加していただき、より新鮮で素敵なハーモニーを奏でることができるとおもいます。

どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

川沼文夫

プログラム

- パーセル 歌劇「ディドとエネアス」組曲
H.Pursell "Dido and Aeneas" Orchestral Suite
- ヘンデル 合奏協奏曲 ヘ長調 Op.3-4
G.F.Hendel Concerto grosso F-Dur Op.3-4

~~~~ 休憩 ~~~~

- バッハ 管弦楽組曲 第1番 ハ長調 BWV. 1066  
J.S.Bach Orchestral Suite (Overture) C-Dur BWV.1066
- グリーク 組曲〈ホルベアの時代より〉 Op.40  
E.H.Grieg Suite "Fra Holbergs Tid" Op.40

## プロフィール

指揮・ゲスト首席チェリスト

### 諸岡 範澄



国立音楽大学器楽科卒業。1993年ブルージュ国際古楽コンクールアンサンブル部門第一位受賞(Trio van Beethoven)。バッハ・コレギウム・ジャパン、P.ヘレヴェッヘ、A.ピルスマ、クイケン兄弟ら、内外の演奏家と数多くの演奏会CDレコーディングに参加。宗教曲、世俗曲を問わず声楽曲の通奏低音奏者としても豊かな経験を持つ。またモダン・チェロ奏者としてもソロ、室内楽等の分野で活躍する他、作曲も手掛ける。1997年指揮者としてデビューし、これまでハイドン、モーツァルト、シューマン等4枚のCDをリリース。1999年「第13回古楽コンクール・山梨」審査員を務める。2000年韓国国立ソウル芸術大学におけるバロック音楽セミナー講師として、また漢陽大学学生による「コレギウム・ムジクム・漢陽」の指導者として招かれ度々訪韓している。

2007~08には西東京市主催企画「ベートーヴェンの学校」(校長・西原 稔)で音楽監督を務める。バロック・古典派にとどまらず、ロマン派から近・現代に至る幅広い指揮レパートリーを持ち、またプロ・アマチュアを問わず奏者の自主性を引き出す指導力にも定評がある。「東京五美術大学管弦楽団」「オーケストラ・Mzima」「東京女子大学カレッジストリングス」指揮者。「ひたちなか楽友会」講師。「オーケストラ・シンポジオン」音楽監督。

## 曲目解説

### パーセル 歌劇「ディドとエネアス」組曲

「ディドとエネアス」はイギリス最大の作曲家と呼ばれたヘンリー・パーセルの代表作です。パーセルは「アーサー王」や「妖精の女王」といった劇音楽を数多く書いていますが、本格的オペラはこれ一曲しか残していません。当時のイギリスではまだオペラが普及しておらず、そのかわりマスク（仮面劇）や音楽劇が喜ばれていたわけです。本格的なオペラとはいっても、アマチュアの女子学生による上演を目的としているため、上演時間も短く楽器編成や舞台装置も出来るだけ切り詰めて書かれています。しかし、音楽の質は極めて高く、生き生きとした魔女たちの合唱やダンス曲、感動的なディドの歌う最後のアリアなどは聞きごたえ十分です。

本日は曲中の器楽のみの音楽5曲に、少し手を加えた3曲のエア（アリア）をプラスしてお送りします。

- I. 序曲 II. エア III. 歓びの踊り IV. 復讐の女神たちのエコーダンス  
V. リトルネッロとエア VI. 水夫たちの踊り VII. 魔女たちの踊り VIII. エアと合唱

### ヘンデル「合奏協奏曲 へ長調 Op. 3-4」

ヘンデルの合奏協奏曲で最も多く演奏されるのはOp.6の12曲で、バッハの「ブランデンブルク協奏曲」やヴィヴァルディの「調和の幻想」などと並んでバロック時代のコンチェルトの最高峰と言われています。

Op.3はそれに比べると若干完成度が落ちますが、その理由を簡条書きにしてみますと、楽章が一定していない、普通コンチェルトにはない舞曲が入っている、独奏群と合奏群の区別が判然としない、他の曲の転用や改作がほぼ半数を占める…等々。その理由の一つには、オリジナルがはっきりせず、後の研究者が勝手に手を加えている、というのがあるようです。

全6曲の中のこの第4番は四つの楽章から成り、弦楽器の他に2本のオーボエとファゴットが加わります。

- I. グラーヴェ〜アレグロ〜グラーヴェ II. アンダンテ III. アラ・プレーヴェ（アレグロ）  
IV. アレグロ（メヌエット）

I. はオペラ「ゴールのアマディージ」の再演時に使われた序曲。II. はハープシコード小品の改作。IV. はフルートソナタ（Op.1-5）の転用。

### バッハ「管弦楽組曲第1番 へ長調 BWV. 1066」

バッハは四つの管弦楽組曲を残しています。それぞれ異なった楽器編成を持っており、第1番は2本のオーボエとファゴットを加えた編成で書かれています。いつ作曲されたのかは不明ですが、おそらくケーテン時代（1717～1723年）に宮廷楽団のために書かれたというのが通説でした。しかし、最近ではライプチヒの聖トマス教会の合唱長を勤めていた時代（1723～1750年）に、市民演奏団体であるコレギウム・ムジクムの演奏会のために書かれた、という説が有力になっています。

バロック時代の組曲ですから、序曲と何曲かの舞曲を集めた構成で出来ています。堂々とした序曲は緩-急-緩の典型的なフランス式様式で書かれており、フォルラーネはイタリアの舞曲ですがそれ以外はすべてフランスの舞曲です。バッハは、I. III. VI. VII. 曲目で木管トリオに生き生きとした活躍の場を与えており、あたかも合奏協奏曲のような性格を感じる事があります。

- I. 序曲 II. クーラント III. ガヴォット IV. フォルラーネ V. メヌエット  
VI. プレー VII. パスピエ

### グリーク 組曲「ホルベアの時代より」

“デンマーク文学の父”と呼ばれたノルウェーの文豪ルドヴィッヒ・ホルベルク（ノルウェーではホルベアと発音する）の出生200年祭のためにグリークが作曲しました。ホルベルクの時代にはノルウェーはデンマークの支配下にあり、ホルベルクはベルゲンで生まれましたが、コペンハーゲンで仕事をしていました。ちなみにグリークの時代はスウェーデンの支配下で、ノルウェーの独立は1905年です。

グリークはこの曲を1884年にピアノ独奏のために作曲しましたが、翌年弦楽オーケストラ用に編曲して広く親しまれるようになり、今では弦楽オーケストラの貴重なレパートリー曲となりました。バロック時代後期の組曲のスタイルで書かれており、次の5曲で構成されています。

- I. プレリユード II. サラバンド III. ガヴォットとミュゼット IV. アリア V. リゴードン

リズムでノリの良いプレリユードで開始されます。優雅なサラバンドはスペインの、愛らしいガヴォットとミュゼットや活発なリゴードンはフランスの舞曲です。アリアはゆったりとした抒情的な歌で、その美しさは全曲中際立っておりとても感動的です。

# 弦楽合奏団エテルニータ メンバープロフィール

## ヴァイオリン

### 青柳 敬子

宇都宮短期大学卒業。  
増田貴子、星野和夫、吉村成司、鈴木鎮一の各氏に師事。  
才能教育研究会宇都宮支部ヴァイオリン科指導者。

### 赤羽根 洋子

宇都宮短期大学卒業。同大学研究科修了。  
在学中、吉村成司、故 久保田良作、鷺見健彰の各氏に師事。  
卒業後、栃木県交響楽団発足時より 20 年在籍。現在、上野楽  
器にて Y.P 講師、ヴァイオリン講師。

### 片山 淑子

国立音楽大学卒業。  
在学中、故 久保田良作氏に師事。卒業後、ソロ、室内楽を浦川  
宣也氏に師事。アンサンブル「どるちえ」を結成し小学校をは  
じめ道内各地にて演奏活動。1990 年にリサイタルを行う。  
札幌交響楽団に 5 年在籍。後進の指導にあっている（札幌在  
住）。

### 川俣 洋子

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。  
岩本政蔵、井上武雄、鷺見健彰、鷺見四郎、石橋洋子、梅津南  
美子の各氏に師事。  
室内楽を青木十良氏に師事。  
フリーの演奏家としてオーケストラ、室内楽等で活動の他、後  
進の指導にあっている。  
アンサンブル・プリランテメンバー。

### 小松崎 倫子

武蔵野音楽大学卒業。宇都宮大学大学院修了。  
故 鈴木史子、吉村成司、萩原耕介の各氏に師事。  
栃木県交響楽団団員。宇都宮市立陽東中学校教諭。

### 土屋 恵子

上野学園大学卒業。  
増田貴子、吉村成司、竹内茂の各氏に師事。  
上野学園ヴァイオリン教室講師を経て、現在自宅にて後進の指  
導にあっている。

### 福富 恵子

宇都宮短期大学卒業。  
吉村成司、鷺見健彰の各氏に師事。  
柿の木幼稚園ヴァイオリン講師、後進の指導にあっている。

### 細小路 響子

茨城県潮来市出身。秋田大学教育学部音楽科卒業。ヴァイオリン  
を山中光、城みどり、安達いづみの各氏に師事。元アトリオン  
室内オーケストラ団員。現在、栃木県立宇都宮工業高等学校芸  
術科教諭。

### 迎 佐也子

栃木県宇都宮市出身。桐朋学園大学短期大学部芸術音楽専攻卒  
業。在学中、ドイツのフライブルク音楽院でレッスンを受講する。  
卒業後、東京代々木のアトリエ ムジカにて「室内楽の夕べ」に  
出演。2011 年中国青島市の新春中日友好音楽会に出演。小林  
清美、柿沼紀子、工藤春彦、故草野玲子、山崎貴子、鷺見野冨子、  
鷺見健彰、澤和樹、ヨルグ ホフマン各氏に師事。現在、ヤマ  
ハ音楽教室の講師、MCF オーケストラに所属。

### 山田 美津子

東京都立大学卒業。  
ヴァイオリンを星野和夫氏に師事。

## ヴィオラ

### 川沼 文夫

宇都宮短期大学、東京芸術大学別科卒業。  
立花和夫、吉村成司、鷺見四郎、中塚良昭、鈴木鎮一、豊田耕  
兒の各氏に師事。  
才能教育研究会宇都宮支部ヴァイオリン科指導者。  
スズキアンサンブル「弦」メンバー

## チェロ

### 荒川 育子

国立音楽大学卒業。  
小野崎純氏に師事。後進の指導にあっている。  
室内合奏団、オーケストラ等でも活動中。

### 柴野 亜紀子

上野学園大学器楽コース卒業。10 歳よりチェロを始める。これ  
までに廣田美弥子、尾形篤信、前田幸康氏に師事。現在、フリー  
の奏者としてソロやオーケストラ、室内楽、よみうりカルチャー  
宇都宮で講師を努めている。

## コントラバス

### 増山 一成

東京芸術大学卒業。ウィーン国立音楽大学に留学。  
沖不可止、今村清一、江口朝彦、小野崎充、ルートヴィヒ・シュ  
トライヒャーの各氏に師事。  
読売日本交響楽団コントラバス奏者、東京ハルモニア室内オー  
ケストラ コントラバス奏者、宇都宮短期大学附属高校音楽科非  
常勤講師。

## エテルニータ顧問・編曲・解説

### 山田 栄二

1948 年宇都宮市に生まれる。宇都宮短期大学作曲科卒業。  
作曲を石黒脩三氏に師事。同短大と同附属高校の講師を務めた  
後、1984 年から作曲、編曲活動に専念。作品にオペラ「ゆき  
と鬼んべ」「殺生石物語」「歌法師蓮生」「那須野巻狩り」「小山  
物語」、オペレッタ「不思議の国のアリス」、室内楽曲「博物誌」  
「動物園の情景」「フェアブル昆虫記」、大正琴と語り手のための  
「手無し娘」など多数。  
1999 年県文化奨励賞受賞。

## ステージマネージャー

### 小林 俊夫 (日本フィル)

## 団友

ヴァイオリン 大越 剛志  
ヴィオラ 中村 淑江 (栃響)

## エキストラ

ヴァイオリン 高橋 真二  
ヴィオラ 諸岡 涼子  
チェロ 玉川 克  
オーボエ 田淵 哲也 山本 楓  
ファゴット 吉澤 真一 (東京フィル)